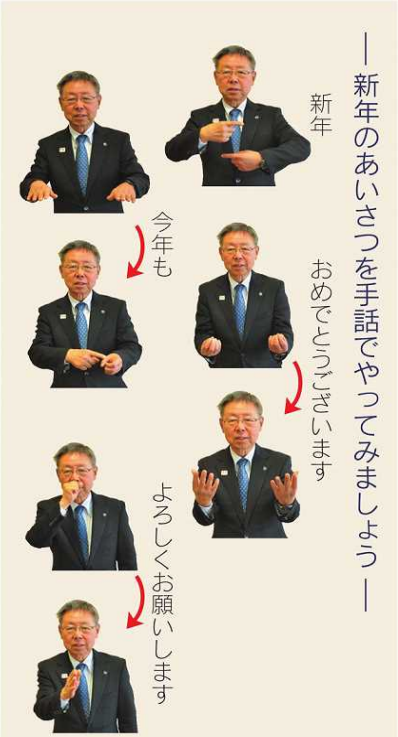
先日、手話の教室に参加しました。

手話は、手指や体の動き、顔の表情を使って表現する言語です。体全体で、コミュニケーションを図ります。

例えば、「ありがとう」は、相撲の勝者が土俵上で懸賞金を受け取る所作から表現されているなど、様々な成り立ちや由来から作られています。

時に普段の会話の中で、相手の気持ちが読み取れず、不安になることがあります。「手話」では、表情豊かに、全身で伝えようとしますので、気持ちが、何倍も強く伝わります。健常者同士でも、自動車や電車の窓越しに、気持ちを伝えられますし、口では上手く言えないことも手話でなら伝えられるかもしれません。

「手話ダンス」も見たことがありますが、とても楽しそうです。

皆で手話を学び、全ての人権が守られ、地域で支え合う温かいまちを作りましょう。

手話奉仕員養成講座で干支のイノシシを手話であいさつ（12月17日）